

山形県における

熱中症による労働災害発生状況

職場における熱中症による労働災害の概要（山形県）

山形県における熱中症による休業4日以上死傷者数は、増減を繰り返しながら、近年は増加傾向が認められる状況にあります。

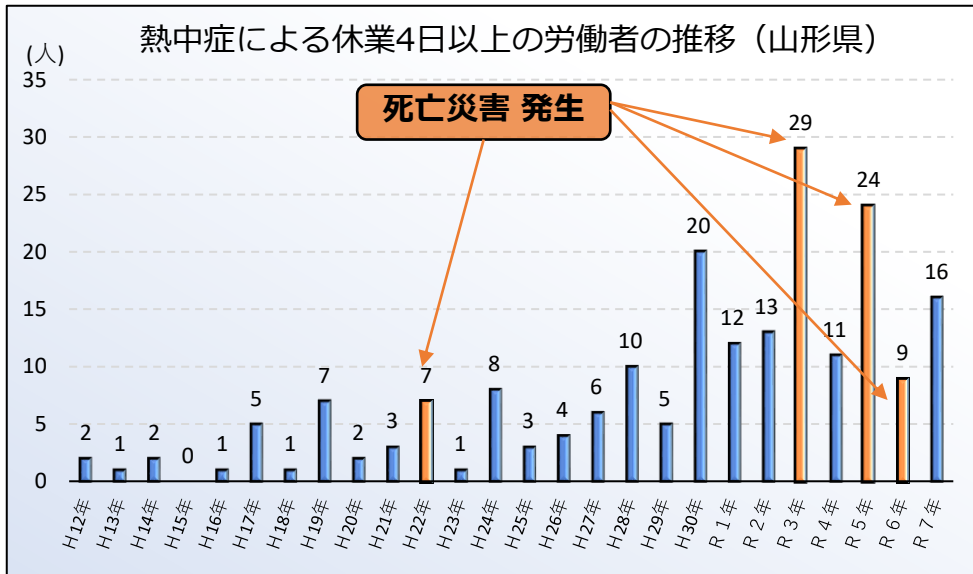
令和7年は死亡災害の発生はなかったものの、死傷者は16人（6月2人、7月11人、8月1人、9月2人）となり、前年より7人の増加となりました。



「STOP! 熱中症クールワークキャンペーン」

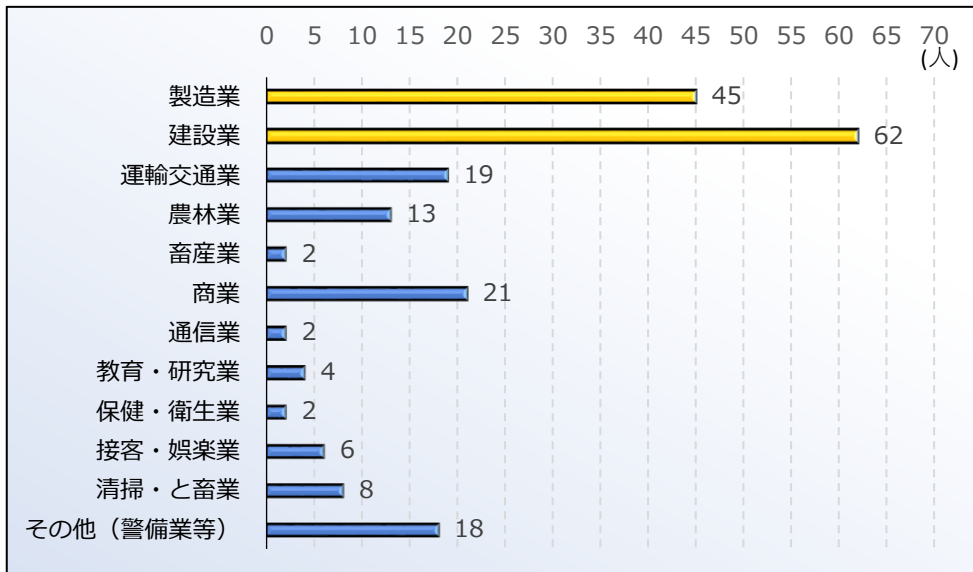
「職場における熱中症防止のためのガイドライン」の徹底を!

・熱中症による死傷災害は、長期的には増加傾向を示しており、令和7年も16人と令和6年と比較して大幅な増加となりました。



・建設業と製造業の発生が目立っているものの、他の業種でも発生しています。

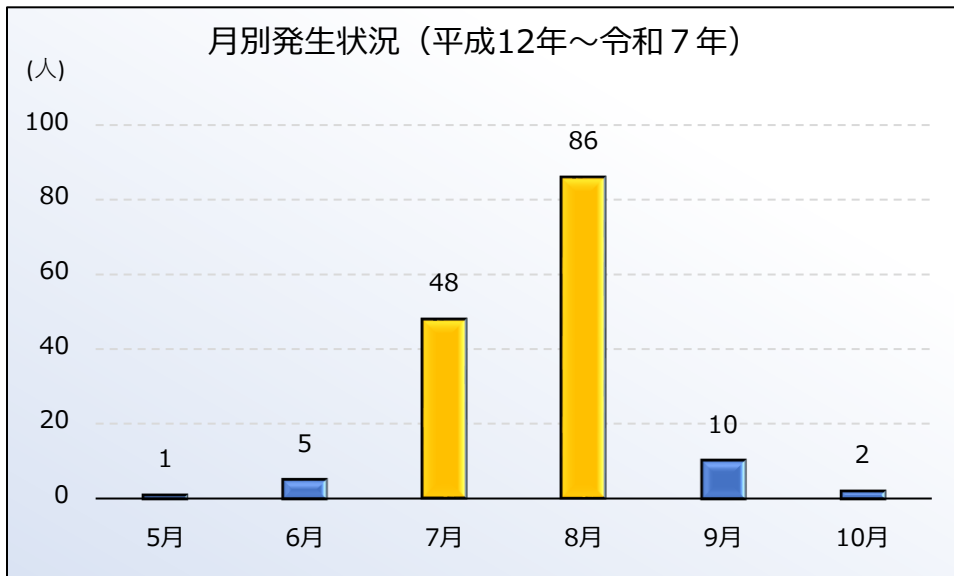
・屋外・屋内を問わずリスクが存在するため、改正安衛則や職場における熱中症防止のためのガイドラインに沿って、WBGT値の把握、作業計画の見直し、休憩の確保、教育を各業種の特性に合わせて展開することが重要です。



「令和7年6月施行 改正労働安全衛生規則」 に基づく熱中症の重症化防止対策の徹底！

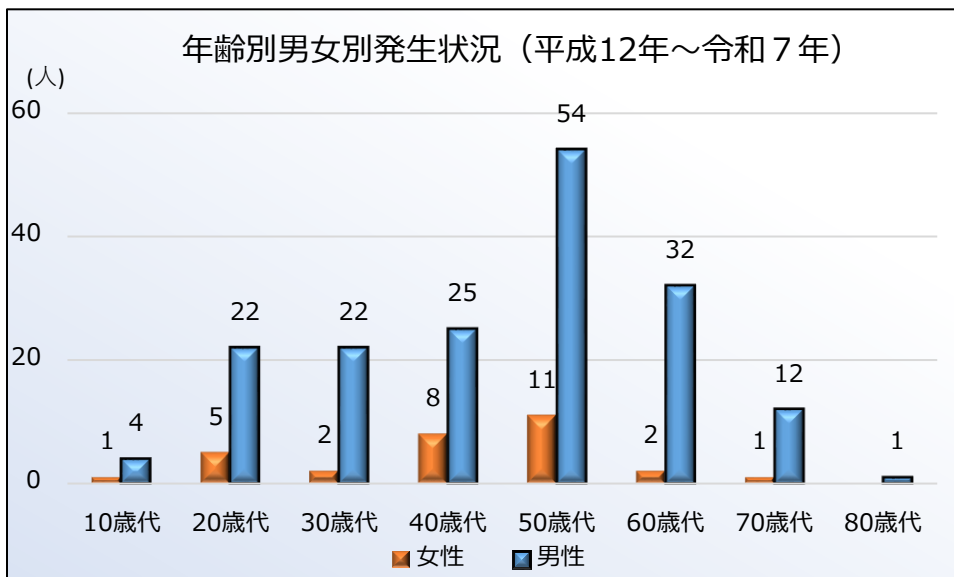
・月別の発生件数をみると、7月と8月で全体の約9割を占めています。

・7月のクールワークキャンペーン重点取組期間中は、特に休憩・給水の強化、空調や日陰の確保などの実効性ある措置を徹底する必要があります。



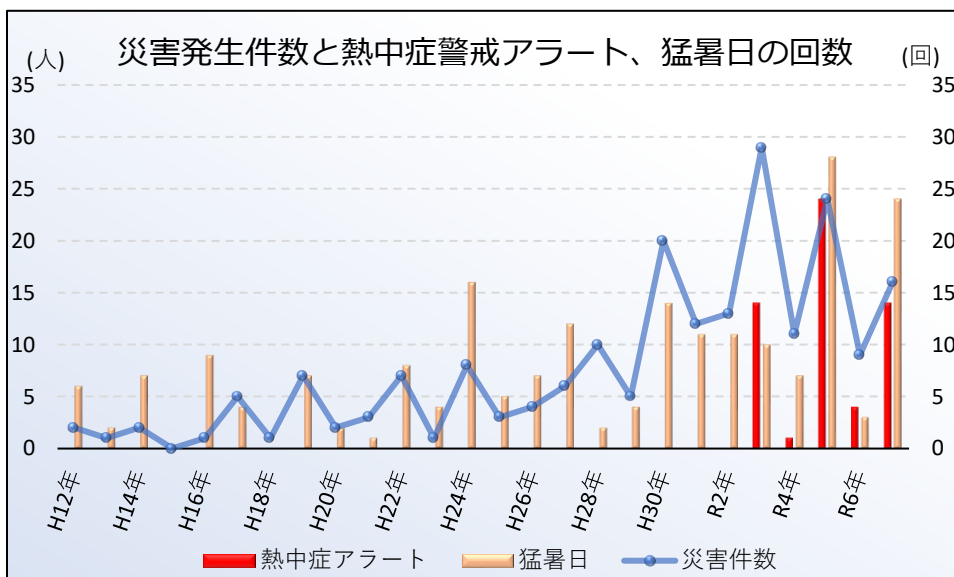
・高齢労働者の発生が目立ちますが、若い年齢層においても相当数発生しています。

・年齢に関係なく、熱中症の発症と関連の高い糖尿病、高血圧等の基礎疾患のある労働者は特に注意が必要です。



・熱中症警戒アラートが多発した年や猛暑日の多い年には、災害件数も増える傾向が示されています。

・気象庁発表の長期予報などを確認し、熱中症予防と重症化予防のための、事前準備の徹底が望まれます。

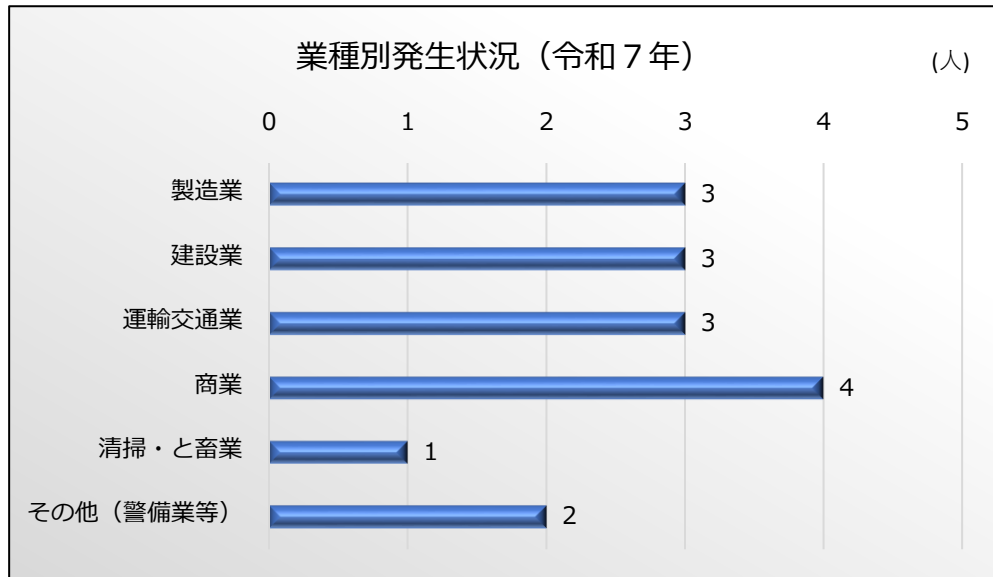


猛暑日：観測地点 山形市

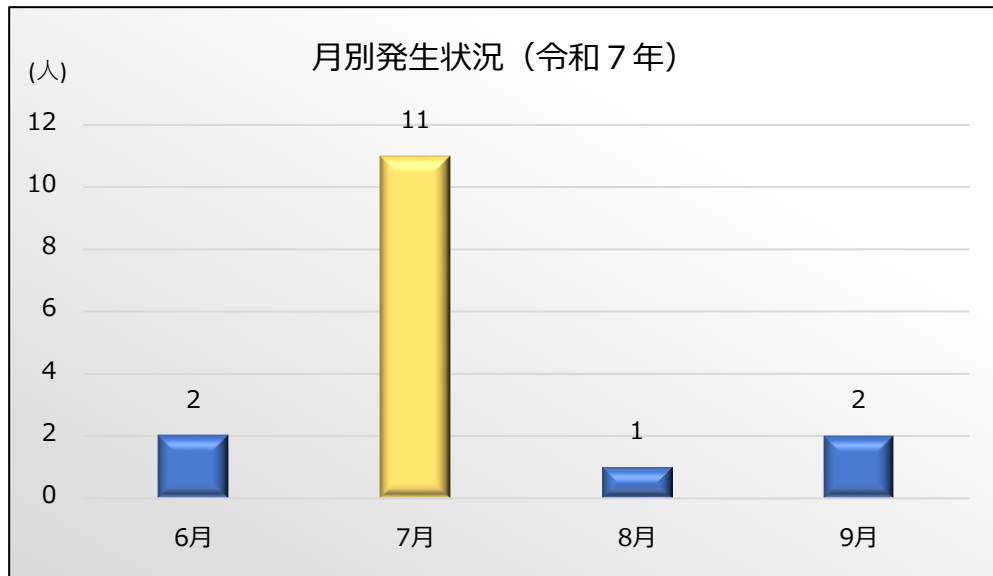
(出典：労働者死傷病報告)

「令和7年 熱中症に係る労働災害発生状況」

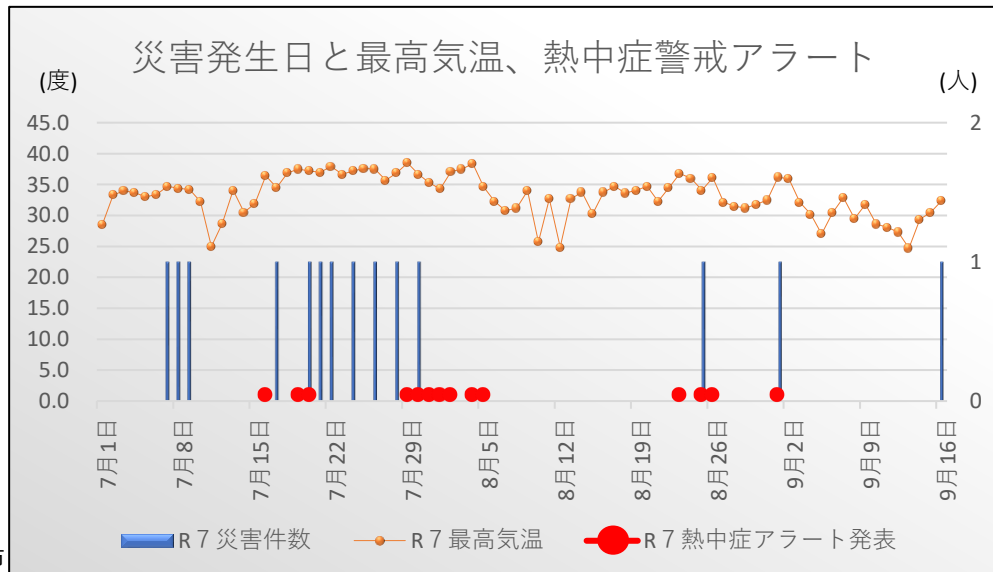
- ・令和7年は様々な業種で災害が発生しました。
- ・屋内外問わずリスクが存在し、特に暑熱環境が厳しい現場では、日陰の確保、風通しの改善、冷却服等の活用が望まれます。



- ・令和7年の災害は7月に集中して発生しました。梅雨明け直後の急激な気温上昇により暑熱順化が追いつかないケースが考えられ、気象情報・熱中症アラートと連動した作業管理の徹底が重要です。



- ・真夏日・猛暑日と災害発生日が密接に重なっており、熱中症警戒アラート発表日にも発生が認められます。
- ・作業現場の負荷が高まるタイミングでリスクが顕著になることを示しており、アラート発表時の対策の徹底が求められます。



最高気温：観測地点 山形市

(出典：労働者死傷病報告(様式第23号)、気象庁気象データ(アメダス観測所山形)、環境省熱中症予防情報サイト)

令和7年 熱中症による災害事例（休業4日以上）（抜粋）

（出典：労働者死傷病報告（様式第23号））

No.	発生月	発生時間帯	業種	災害発生状況
1	9月	11時	その他	街路樹剪定に伴う交通誘導中、猛暑で全身倦怠等が出現。熱中症／休業1週。
2	8月	17時	製造業	工場内の高温多湿環境下で洗濯作業後に体調悪化。熱中症／休業3週。
3	7月	12時	運輸業	屋外の資材置き場でトラックへ製品の積み込み作業中に、意識が朦朧となり倒れた。熱中症／休業18日
4	7月	9時	建設業	建設現場に到着後に車両から降車時、熱中症による急な意識消失で転倒・打撲。熱中症／休業2週。
5	7月	10時	製造業	事業場敷地内の芝生メンテナンスのため、砂補充作業を約50分（空調服・帽子なし）作業を行っていたところ、めまいが発生し、その場に倒れ込んだ。熱中症／休業2週。
6	7月	10時	清掃業	ごみ収集積込み作業を行っていた。連日の高温環境下で（9時時点31.9℃）、脱水に気づかず作業を継続していたところ、痙攣感・背部痛等が発現。熱中症・急性腎障害で入院／休業9日。
7	7月	16時	商業	事務所で作業中、ヘアアイロン・ドライヤー等を使用していたところ、頭痛・めまい・嘔吐。被災当時エアコンが故障していた。熱中症／休業4日。
8	7月	15時	建設業	本社倉庫2階で資材片付け。風通し悪く室温約34℃の中で作業し体調不良となった。熱中症／休業4日。
9	7月	8時	運輸業	荷主の倉庫で酒類等を積込み作業中、30℃超の暑熱下で腕力入らず・冷汗・起立困難となった。熱中症／休業1か月。
10	6月	10時	製造業	トラックを運転し山形から仙台まで製品（10～25kg×約40袋）を運搬し、手作業で荷下ろし中に体調悪化したもの（前日には屋外作業行った）。熱中症／休業5日。
11	6月	17時	建設業	住宅新築工事現場の作業を終え、帰宅後に頭痛・吐気の症状が発現。数日後様子を見ていたが改善しないことから病院受診。熱中症／休業4日。